

氏名 萩原秀紀

学位の種類 医学博士

学位授与番号 博乙第2126号

学位授与の日付 平成2年 6月30日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）

学位論文題目 左室肥大例における運動負荷 QRST isointegral map と運動負荷²⁰¹T ℓ 心筋シンチグラムの対比検討

論文審査委員 教授 原岡昭一 教授 太田善介 教授 木村郁郎

学位論文内容の要旨

心電図で左室電位にST-T変化を伴う肥大心において、運動負荷時の虚血の関与の有無を鑑別する目的で、肥大型心筋症（HCM）35例と、本態性高血圧症（EH）9例を対象として、運動負荷前後のQRST isointegral map（area map）と運動負荷²⁰¹T ℓ 心筋シンチグラムの所見とを対比検討した。その結果、HCMにおいて、負荷前後のQRST area mapの差の電位図上で、前胸部の広い範囲で、 $-40\mu\text{VS}$ 以上の大きな陰性領域の出現を認めたものは88%が、また前胸部で増大を示しても他の部位で $-40\mu\text{VS}$ 以上の明らかな陰性領域を認めたものでは75%が、負荷心筋シンチグラムの所見も陽性であり、QRST area mapの差のパターンを検討することにより、ある程度HCM例における虚血の関与を推測し得る可能性が示唆された。一方、EH例では、負荷前後のQRST area mapの差の電位図で、 $-40\mu\text{VS}$ 以上の明らかな陰性領域の出現を認めた7例のうち6例は、負荷心筋シンチグラム上有意な所見を認めず、²⁰¹T ℓ 心筋シンチグラムでは捉えることの出来ない虚血以外の因子が関与している可能性が考えられた。

論文審査の結果の要旨

本研究はQRS高電位+ST-T変化を伴う高血圧、肥大型心筋症の運動負荷心電図（isointegral map）と心筋タリウム・シンチグラムを対比検討し、肥大型心筋症では差のmapで虚血を推測し得るが、高血圧では虚血以外の因子の関与が考えられた。